

当院および以下の機関で脳卒中や嚥下障害に対する診療を受けられた

患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力のお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究は、普段の診療で得られた以下の情報を解析してまとめるものです。この研究のために、新たな検査等はありません。ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、以下の担当者までご連絡ください。また、この研究に診療の情報を使ってほしくないとのことがある場合も、遠慮なくご連絡ください。お申し出以降は、その方の情報はこの研究には利用せず、すでに収集した情報があれば削除します。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2011年1月1日以降に当院に入院し、脳卒中や嚥下障害に対する診療を受けた方

【研究課題名】嚥下障害の後ろ向き観察研究

【研究責任者】

仙台市立病院 脳神経内科 科部長 遠藤 薫

【研究の目的・意義】

この研究は、これまでのカルテ情報等を解析し、脳卒中患者における低栄養、サルコペニア（全身の筋力や筋肉量が低下した状態）、嚥下障害の関連性や予後への影響を明らかにすることを目的としています。この研究の成果は、将来的に脳卒中診療の発展に繋がることが期待されます。

【利用する診療情報】診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、家族歴、生活歴、症状、血液検査結果、画像検査、嚥下評価法、サルコペニア指標、治療内容、合併症、栄養管理状態、予後

【情報の管理責任者】

仙台市立病院 院長 渡辺 徹雄

【研究の実施体制】

この研究は、他機関と共同で実施します。研究体制は以下のとおりです。

研究代表者

国立循環器病研究センター 脳神経内科 部長 猪原匡史

共同研究機関・研究責任者

1. 仙台市立病院 脳神経内科 部長 遠藤薫
2. 広島大学病院 脳神経内科 講師 祢津智久
3. 千里リハビリテーション病院 脳神経内科 副院長 高屋成利

【外部機関への情報等の提供】

この研究で収集した情報を、仙台市立病院、広島大学病院、千里リハビリテーション病院から国立循環器病研究センターに提供し、解析を行います。提供する際は、あなたのお名前等は削除し、個人を直接特定できないようにします。

機関名：国立循環器病研究センター

研究責任者：脳神経内科 部長 猪原匡史

提供方法：国立循環器病研究センターのクラウドストレージ、保存した電子媒体の郵送・配達、又はセキュリティ対策が施され特定の関係者しかアクセスできない状態での電子的配信。

国立循環器病研究センターに集約された研究情報の一部は、データの追加解析のために、共同研究機関に提供します。

共同研究機関：

研究機関の名称：仙台市立病院

研究責任者の氏名：遠藤薫

研究機関の名称：広島大学病院

研究責任者の氏名：祢津智久

研究機関の名称：千里リハビリテーション病院

研究責任者の氏名：高屋成利

提供する項目：一部の画像情報・脳波情報・その他の臨床情報

提供方法：国立循環器病研究センターのクラウドストレージ、保存した電子媒体の郵送・配達、又はセキュリティ対策が施され特定の関係者しかアクセスできない状態での電子的配信

【研究期間】研究許可日より2030年12月31日まで（予定）

情報の利用または提供を開始する予定日：2025年9月1日（公開から1か月後）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所等の個人を直接特定する情報については厳重に管理し、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人を特定できない形で行います。

この文書は、研究期間中、当院ホームページに掲載しています。将来、この研究の計画を変更する場合や、収集した情報を新たな研究に利用する場合は、倫理審査委員会の承認と、研究機関の長の許可を受けて実施します。その際も、個別にお知らせしない場合は、同ページに公開いたします。

【この研究の結果について】

この研究は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはありません。

【問合せ先】

仙台市立病院 脳神経内科 科部長 遠藤 薫
仙台市太白区あすと長町一丁目 1 番 1 号
電話：022-308-7111（代表）